

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 年 月 日

事業所名:ばんびーに小美玉館

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75%	25%		
	2 職員の配置数は適切であるか	75%	25%		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	75%	25%		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	25%	50%	25%	全職員が揃う月一回のミーティング時に行っているが、時間的に足りないのでミーティングの回数を増やしたい。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	50%	50%		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		50%	50%	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	50%	50%		研修参加者が限定的になりがちなので、多くの職員に機会を与えたい。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	75%	25%		
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	75%	25%		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	75%	25%		話し合っ決めてる。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	50%	50%		曜日で基本プログラムが決まっているが、内容は変化を持たせるように工夫している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	50%	25%	25%	長期休暇においては課題設定が甘いとか感じるの、早くから準備をしていきたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	75%	25%		集団活動に力を入れているが、個々に応じて個別課題を行ったりしている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	75%	25%		平日は職員の出勤時間帯に合わせ、2回打合せをしたりして情報共有を図っている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50%	50%		当日支援終了後の記録を記入する際に情報共有はしているが、一部の職員になりがちなので、翌日にその他の職員に伝達していきたい。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	50%	50%		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	75%	25%			

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関 や保護者との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	75%	25%		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	75%	25%		必要な情報交換は随時行っている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	25%	50%	25%	医療的ケアが必要な子は通っていないが、てんかん時の対応等は主治医と綿密に連携を取っている保護者と事前に決めている。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	50%	25%	25%	保護者を通しての情報のみになっている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	25%	50%	25%	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50%		50%	受けている職員はいるが、情報共有が十分でなかったので今後は情報共有に努めたい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			100%	今後は関係機関へ相談して交流する機会を持ちたい。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	25%	50%	25%	一定の職員の参加になっている。得た情報は共有していく必要がある。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	75%	25%		送迎時に職員が日々の報告を行っている。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	25%	50%	25%	
保護者への 説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	75%	25%		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	75%	25%		相談を受けた場合は随時解決につながるよう努力をしている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	25%	50%	25%	親子レクリエーションの開催等で保護者同士でも交流できることを喜ばれているので、その回数を増やしていきたい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	50%	25%	25%	その日のうちに対応している。当事者にとって適切かつ効果的な対応し、誠意を尽くして話し合いをしている。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	75%	25%		月一回広報誌を発行している。SNS(フェイスブック)で日々の情報を発信している。
	35 個人情報に十分注意しているか	100%			
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	50%	50%		送迎時や電話等で伝えている。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		50%	50%	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	50%	25%	25%	事業所内掲示している。 保護者にも手紙配布している。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	75%	25%		年3回実施している。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	25%	75%		一定の職員の参加になっていたのに、他の多くの職員に対し研修機会を確保していく。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	25%	75%		
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	75%	25%		
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	50%	50%		作成した事例集はあまり共有化されていないので、都度職員の周知徹底を図る。